

2025（令和7）年度 国際版画美術館 展示計画

資料1-1

展示会	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
連続講演：7回 （※全12回のうち2025年度分） 公開講習：3月開催											連続講演×7回		公開講習
新収蔵作品展											1/6～2/23 【43日間】		
小中学校作品展											1/16～2/23		
特集展示Ⅳ期 はんが探検隊 —大きな版画の世界にようこそ！											12/26～3/22 【68日間】		

展示会活動について

企画展「日本の版画1200年—受けとめ、交わり、生まれ出る」（会期：2025年3月20日～6月15日）	入場者数
企画展「版画ってアートなの？」（会期：2025年7月5日～9月21日）※資料1、参考資料1を参照	12,281人
特集展示Ⅰ期「ふぞろいの版画たち—西洋版画のシリーズとステート」（会期：2025年3月14日～6月15日）	7,863人
特集展示Ⅱ期「ドーミエ、どう見える？—19世紀フランスの社会諷刺」（会期：2025年6月20日～9月21日）	12,213人
特集展示Ⅲ期「夢の江戸へ—美人画と歴史ロマン」（会期：9月26日～12月21日）	10,705人
	10,429人
	計 53,491人

美術館教育活動について

鑑賞会	
「0歳からの版画美術館！親子で鑑賞&版画あそび」①4月16日（水）：9人 ②5月17日（土）：12人（※日本の版画1200年展の関連イベントとして実施）	
「0歳からOK！親子で楽しむ展示会ツアー」①8月20日（水）：16人 ②8月23日（土）：23人（※版画ってアートなの？展の関連イベントとして実施）	計 60人
学校対応	
①4月18日（金）：134人（女子美術大学）②5月14日（水）：18人（東京造形大学）③5月22日（木）：35人（多摩美術大学）④5月28日（水）：32人（女子美術大学）	
⑤5月29日（木）：15人（東京造形大）⑥6月3日（火）21人（実践女子大学）⑦6月5日（木）19人（女子美術大学）⑧6月14日（土）24人（筑波大学）	
⑨7月9日（水）：28人（東京造形大）⑩7月31日（木）：11人（木曾中学）⑪8月5日（火）：26人（金井中学校）⑫8月8日（金）：25人（小教研・図工部研）	
⑬8月22日（金）：17人（堺中学校）⑭9月18日（木）：18人（N中等部）⑮12月2日（火）：51人（高ヶ坂小）	計 474人

連続講演について：【講演会×鑑賞会】ココがすごい！版美のコレクション。

第1回 10月18日（土）「幕末の風刺画を読む：パニックから生まれた江戸の笑い」大久保純一（当館館長）	参加者数
第2回 10月19日（日）「イタリア・ルネサンスの版画：視覚メディアの大変革」越川倫明氏（東京藝術大学教授）	52人
第3回 10月25日（土）「アジアの版画運動と日本：近代と現代の2つの渦」町村悠香（当館学芸員）	46人
第4回 11月8日（土）「刻線の巨匠：デューラーとホルツィウス」藤村拓也（当館学芸員）	36人
第5回 11月22日（土）「ナポレオンの『エジプト誌』：エジプト学の礎を築いたフランスの国家事業」高野詩織（当館学芸員）	61人
第6回 12月6日（土）「ネルノダイスキ流・版画の見かた」ネルノダイスキ氏（漫画家・イラストレーター）※参考資料2を参照	78人
第7回 12月20日（土）「浮世絵というフィクション：特集展示「夢の江戸へ—美人画と歴史ロマン」の出品作を中心に」宮崎黎（当館学芸員）	77人
	50人
	計 400人

公開講習について：【公開講習会】版美をささえる ミュージアムの仕事

1日目：3月20日（金・祝）美術館のウラーコレクションを伝えるために 2日目：3月21日（土）美術館のおもて—展示会を開くために

2025（令和7）年度 国際版画美術館 事業報告書【展覧会版】

展覧会名	版画ってアートなの？		担当者名	川添愛奈		
会期	2025年7月5日（土）～ 9月21日（日）		開催日数	68日間		
協賛・後援・協力	なし					
巡回館	なし					
展覧会概要	版画の実用品と美術品としての側面に注目し、大衆的な印刷物から著名なアーティストの作品、そして現代アートまで、版画の多様な魅力を約130点の作品で紹介する展覧会。大学版画展受賞作品として収蔵している作家の長田奈緒氏に出品を依頼した。					
ねらい・対象	夏休み期間の収蔵品企画展であるため、市内外の小中学生とその保護者をメインターゲットとして、美術館初心者が見学し親しみと関心を持ち、さらに美術鑑賞自体に親しめるような企画とした。当館に足を運んだことのある来館者に対しては、これまでにあまり展示機会がなかった作品を選んだことや、アートについて問いかけるコンセプトとしたことで、当館のコレクションの新たな魅力を発見できるようにした。収蔵品に加え、本展のテーマと通じる制作活動を行う長田奈緒氏を取り上げ、現代アート関心層にも訴求する展覧会構成とした。					
関連催事	催事名	開催日	タイトル	講師等	参加者数	
	トークイベント	7月19日（土）	トークイベント（手話通訳付） アーティストのまなざしで見ると本展	出演：長田奈緒氏（アーティスト） 聞き手：川添愛奈	32人	
	バックヤードツアー	8月2日（土）	親子で探検！ 美術館バックヤードツアー	川添愛奈 協力：博物館実習生	34人	
	こどものための鑑賞会	8月20日（水） 8月23日（土）	0歳からOK！親子で楽しむ展覧会ツアー	富田めぐみ氏（NPO法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会代表理事）	16人 23人	
	ギャラリートーク	8月9日（土） 9月13日（土）	担当学芸員によるおしゃべりギャラリートーク	川添愛奈	25人 20人	
	プロムナード・コンサート	9月6日（土）	連弾で奏でる音色のアート	林崎祥子 ミヒャエル・ハーゲマン	144人	
観覧料	一般	大・高生	中学生以下	無料日		
	800 円	400 円	無料	・初日：7/5 ・シルバードデー（満65歳以上無料）：7/23、8/27		
観覧者数	有料計	無料計	総観覧者数	内、一般	内、大・高生	内、中学生以下
	5,192 人	2,671 人	7,863 人	6,310 人	501 人	1,052 人
	目標値			9,300 人		
主な収入	観覧料収入	図録販売収入	受託販売収入	その他の特定財源		
	3,249 千円	— 千円	615 千円	— 千円		
事業経費	<ul style="list-style-type: none"> ・講師謝礼 45 千円 ・事業協力謝礼 115 千円 ・著作権使用料 118 千円 ・著作権使用申請委託料 55 千円 ・設置・撤去委託料 855 千円 ・作品額装委託料 668 千円 ・広告・宣伝委託料 638 千円 ・ポスター等作成委託料 1,150 千円 ・ディスプレイ作成委託料 847 千円 ・イベント企画運営委託料 47 千円 			4,538 千円		
主な広報・取材等	【テレビ】「多摩テレビ」（TTV-NOW）、「地モトNEWS」（イツコム） 【新聞・雑誌】神奈川新聞、東京新聞（ウェブ）、埼玉新聞（ウェブ）、神戸新聞（ウェブ）、『KYODO Weekly』、『CLUÉL』、『PHOTOSAI』、『月刊美術』、『アートコレクターズ』、asacocoほか 【ウェブ】「美術展ナビ」、「美術手帖」、「Fashion Press」、「IM（インターネットミュージアム）」、「アートアジェンダ」ほか					

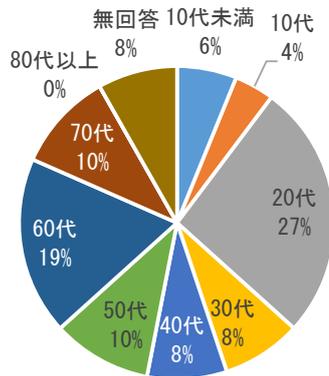
アンケート結果	回収数		回収率		市民率		リピーター率		満足度(とても良かったと良かったの率)					
									企画の内容	展示作品	展示の仕方等			
	219	件	2.8	%	26	%	59	%	98	%	98	%	86	%
	主なご意見		別紙参照											
工夫と反省点、改善方法	予備調査		<p>2024年11月頃から出品作品の調査を開始。ポップアートや現代アートの作品を足掛かりに、当館の各学芸員の協力のもと、収蔵作品全般の調査を進めた。展示機会の少なかった島州一の大型作品やヴィクトル・ヴァザリなどの立体作品については展示方法やコンディションを調査したほか、当館普及担当学芸員に相談し、飯塚二郎など過去の公開制作に関する資料と作品を一部調査した。</p> <p>また当館学芸員の高野詩織・藤村拓也と協力体制を作り、企画会議を重ねて準備を進めた。大学版画展受賞作品を当館で収蔵している作家長田奈緒氏と3月にアポイントメントを取り、制作活動の調査を経て出品とイベント出演を依頼した。</p>											
	作品選択		<p>幅広い時代、分野の作品を扱うため、とくに1章、2章では当館学芸員に各分野の作品選定を依頼した。「1章 版画の作りかた」「2章 版画が作られるとき」「3章 これってアートなの?」「4章 これって版画なの?」の4章構成とした。1章、2章では初めての来館者にも版画の仕組みや特徴のちがいが視覚的にわかるように道具や動画とともに名品で示し、3、4章では平面作品だけでなく、工業製品や立体・大型作品、コンセプチュアル・アート作品など、一見版画と思えないようなポップアート以降の作品を示し、版表現とアートの自由さを感じられる構成とした。</p>											
	リーフレット		<p>A5横型12頁の鑑賞ガイドを3000部作成した。ジョアン・ミロによる長さ9メートルの作品の全図を掲載するために横型とした。デザイナーの提案により、版画の反転する仕組みがデザインに取り入れられ、版画の特徴をわかりやすく伝える表紙となった。内容は全4章の内容をコンパクトに紹介するもので、著作権のある作品も積極的に使用許諾を得て掲載した。冊子は会場受付で希望者に配布をおこない、会期後半で配布上限に達した。</p>											
	広報		<p>草間彌生の『Art Editions Yayoi Kusama』シリーズより《私の犬のリンリン》をメインビジュアルに使用し、出品作のバラエティを示すために複数のジャンルの作品を配置するデザインとした。ポップで親しみやすいイメージを伝えることで、子どもたちにも楽しんでもらえる企画であることをアピールした。市内の公立小中学校や各地区センター、全国の美術館など、約700カ所に広報物を送付した。来場者のうち約20%が大学生以下となり、メインビジュアルの効果を感じた。来場の動機として最も重要な情報源であるホームページには、著作権のあるピカソの目玉作品を掲載するなどして力を入れた。</p>											
	宣伝		<p>ビジュアルの訴求力が高く、30代以下の利用者が多いInstagramを活用して有料広告を出稿した。クリックへの反応が最も多かったのは55歳から64歳であり、広告動画視聴率は18歳から24歳が高かった。来館の直接のきっかけとなったかどうかはアンケート結果には明確に表れていないが、20代以下の来館者の割合が通常よりも多かったことから、潜在的な動向への影響が予想される。アンケートの回答は20代の割合が27%と全年齢層の中で最も多く、通常よりも若い年齢層から反応が得られた。</p>											
	ディスプレイ		<p>作品キャプションは子ども向けに総ルビを振り、解説パネルはすべてわかりやすい内容となるよう心掛けた。来館者が戸惑うことなく鑑賞できるように展示室の入り口付近に「鑑賞の楽しみ方」と題したパネルを設置し、作品を自分の感性で自由に鑑賞することについて伝えた。作品を楽しむヒントや小話を書いた子ども向けの解説シールを20枚以上設置したところ、一般の来館者にも好評だった。</p> <p>夏休み開始の7月19日から展示室と館内を巡るスタンプラリー（先着2000名）を高野が主導して実施したところ、子どもを中心に好評を得て、会期末に配布上限に達した。</p>											
	イベント		<p>親子向けイベントを複数開催し、0歳からの親子鑑賞会、小学生とその保護者を対象とするバックヤードツアー（博物館実習）はどちらも予約開始数日で定員に達した。鑑賞会ではリピーターが見られるなど、0歳からの鑑賞が定着しつつある実感を得た。長田氏出演のトークイベントでは、ポップアートの流れを汲む現代アートを好む層や、制作や美術を学ぶ大学生などから現役のアーティストへの積極的な質疑が飛び交うなどして盛況だった。</p>											
	団体見学・学校対応		<p>積極的に学校対応の受け入れを行った。市内中学校美術部3校（木曽、金井、塚）、N中等部（町田校・橋本校）、東京造形大学が団体に来館した。展示案内だけでなく、案件に応じて学芸員の説明や美術館の裏側の紹介などを行った。小学校教育研究会図工部の研修会に普及担当学芸員とともに協力し、綿密な打ち合わせを経てグループワークと鑑賞、制作のプログラムを実施。図工教諭が美術に対する価値観をアップデートする機会となるなど、展示主旨が活かされる機会となった。今後も展示見学を鑑賞教育の場として活用してもらえるよう、積極的にアピールしていきたい。</p>											
その他特記事項		<ul style="list-style-type: none"> ・町田市主催イベント「Future Park Lab 2025 Summer」（8月16日）のなかで、影絵人形作りのワークショップに協力し、参加者の小学生とその保護者に向けて展示室内で2作品を解説した。 ・鑑賞教育という専門性を全面に出した内容を試みたが、展示全体の情報量と作品説明の過不足のバランスに苦労した。今後は出品数や特集内容を調整することも考慮しつつ、美術の魅力をわかりやすく伝え、親しんでもらうという基本的な方向性は変えずに取り組んでいきたい。 												

2025（令和7）年度 国際版画美術館 アンケート集計結果【版画ってアートなの？】

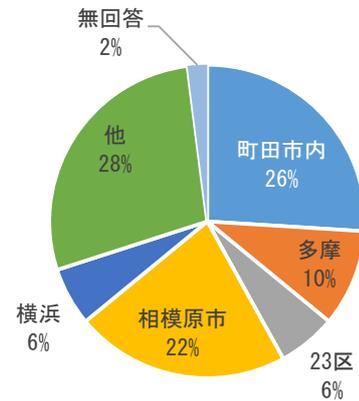
開催期間：2025年7月5日（土）～9月21日（日）

回答者数：219人（総入館者数：7863人 アンケート回収率：2.8%）

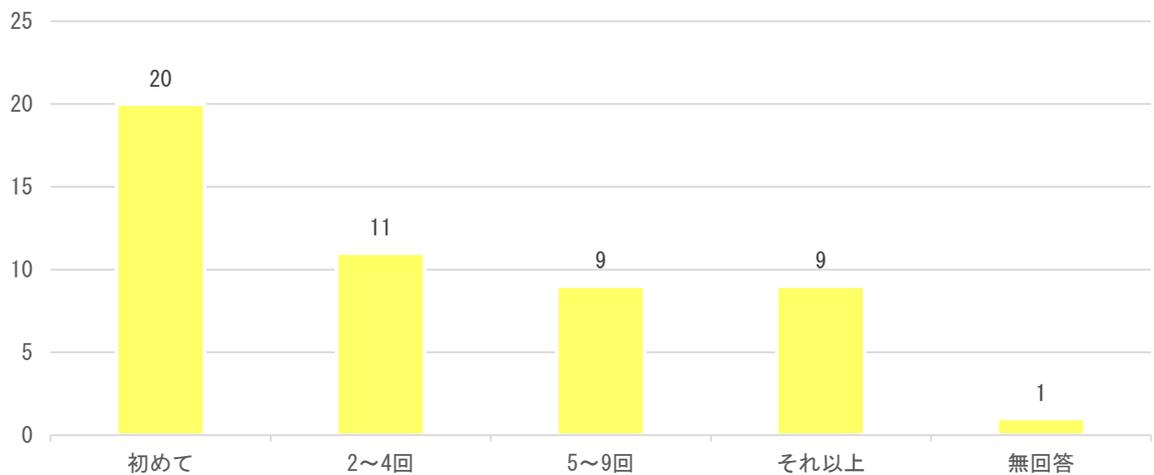
1. 年齢層



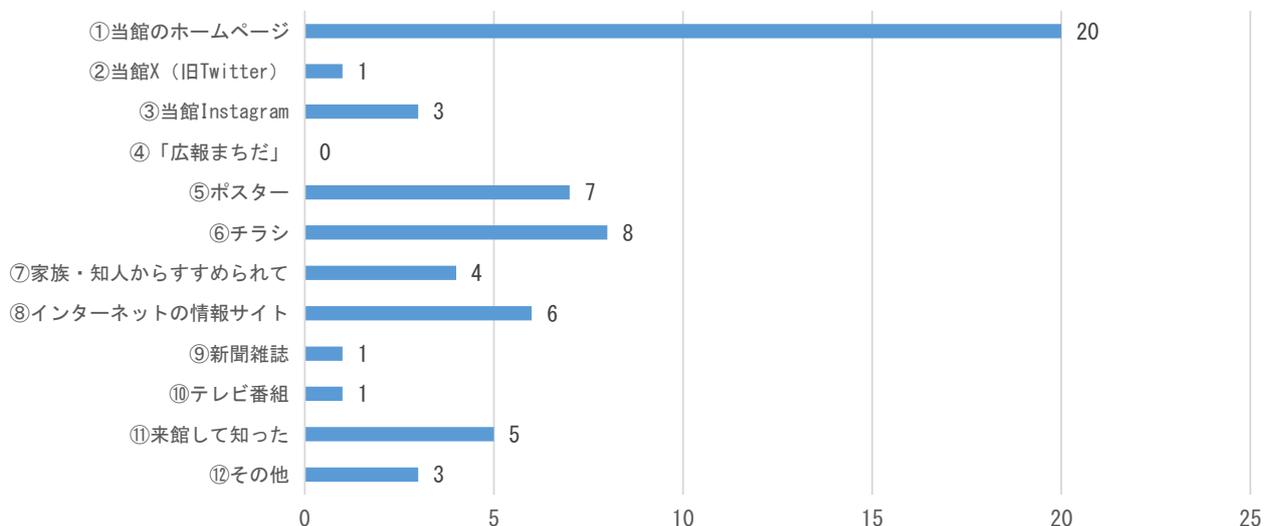
2. 住まい



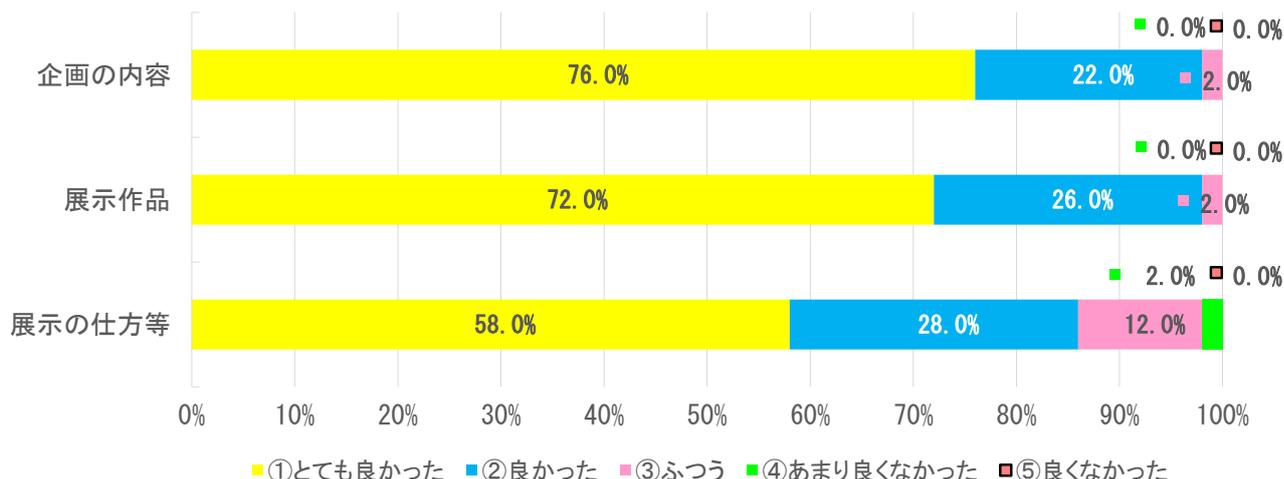
3. 来館回数（人数）



4. 展覧会情報の入手（人数）



5. 回答者の満足度



6. 主なご意見・ご感想

◆企画の内容

- ・美術館自体初めてでしたが、とても落ち着いた空間で居心地も良く、初心者でも楽しめるガイドが多かったのが美術館が好きになりました。たまたま通りがかっただけでしたが入ってみて良かったです。また来たいと思います。
- ・近場にある美術館ながら、なかなか行く機会なく、こんなに展示作品が充実していること知りませんでした。今度からはもっと定期的に遊びに行きたいと思います。
- ・版画の種類について、キャプションでの刷り方の説明しか見たことがなく、あまりはっきりと違いが分かっていなかったが、それぞれ映像や道具、触れることのできるコーナーなど複数のもので違いを説明されていて分かりやすかった。これから版画作品がもっと楽しめそう。
- ・はんがってアートなの？の題の通り、自分の身近なものから作品まで、何がアートと言えるのかを考えられる展示でした。複製という点から、そのものの存在を問われている作品がポップアートでは多くあるように感じました。
- ・版画を今までは「ウーン・・・」と思ってさけていたが「これもか！これもか！」の発見が楽しかった。来て良かった。
- ・展示が進むにつれて、版画がより自由なアートとして姿をかえていく様が良い良かった。静かな環境で作品に没頭できた。
- ・版画は小学生の図工でやった以来全くふれていなかったの、知らないことばかりでとても楽しめました！周辺的环境も良く、すてきな美術館でいやされました。また来ます！
- ・NHKドラマひとりでのしたいのロケ地としてはじめて知りました。館内もとても美しく、展示内容もとても良かったのでまた来たいと思いました。今まで日本の版画作品ばかり見ていたので、海外の版画を多く見ることができ楽しかったです。
- ・「自由に作品を見ていい」というようなメッセージを感じ、とてもすてきな展示だと思いました。
- ・美術の意味、版画の意味たのしさ、面白さをわかりやすく展示していて、たのしかったです。
- ・こんなにゆっくり楽しく見続けられたのは、はじめてです。展示の工夫がいっぱいされているだろうと思います。またきたいです。
- ・ミロのまきもの全てを見られたのが嬉しかったです。
- ・毎年、夏の展示を楽しみにしています。今年のは子供にも親しみやすく、とても良かったです。
- ・スタンプラリーがあり、子供連れも来やすくよかったです。

◆要望等の意見

- ・市民には割引等があるとありがたいです。
- ・とてもよかったです。版画美術館まで、バスを出してくれるのもっと良いです。坂道が多いので歩くのが時間がかかるのでよろしくお願いします。
- ・町田駅からの高低差が大きく、足の悪い人等、特に帰路が大変。
- ・せっかくの作品がライトに反射してたり、アクリルに周りが映っていたりしているものがあり、もったいなかった。

2025年度 後期 事業報告【普及担当】 2025年10月～2026年3月 (データは12月26日時点のもの)

2026年1月29日
町田市立国際版画美術館
(普及担当)

1 版画講座

版画工房・アトリエにて開催される版画の講習会。様々な種類の版画を体験することができます。制作を通して版画の理解を深め、創作の楽しさを味わうことを目的としています。子どもを対象にした講座では、版画美術館ならではの楽しい制作体験ができるよう工夫を重ねています。

No	事業名	対象	概要(敬称略)	実施日程	会場	定員	参加人数	うち小中学生	参加費
1	リトグラフ一日教室③	一般 (高校生以上)	各自用意した下絵をもとに、単色のリトグラフ作品を制作する。初心者から参加可。受講生は講師のアドバイスを受けて、様々な描画材を使ってアルミ版に描き込むことで、リトグラフならではの表現を体験する。講師：小森琢己(版画家)	2026年 3/13(金) 11:00～16:00	版画工房	8人	(実施前)	—	4,000円
2	リトグラフ一日教室④			2026年 3/14(土) 11:00～16:00	版画工房	8人	(実施前)	—	4,000円
3	木版画一日教室①	一般 (高校生以上)	彫刻刀やバレンの持ち方から、絵具の溶き方、刷毛の使い方まで、木版画の基本的な制作を一日で体験する。初心者から参加可。単色または2色摺りの年賀状を制作。受講生は講師が用意したさまざまな下絵から好きなものを選び、彫りから摺り(ハガキ30枚程度)までを行う。講師：木下泰嘉(版画家)	12/2(火) 10:30～16:00	アトリエ	16人	14人	—	3,000円
4	木版画一日教室②			12/3(水) 10:30～16:00	アトリエ	16人	16人	—	3,000円
5	創作講座 木版画 「色と形を重ねてつくる はじめての木版画」	一般 (高校生以上)	多色刷りの作品制作を通して、木版画の彫りと摺りの基本的な制作技法を学ぶ長期講座。主版(輪郭線)を用いず、色面を摺り重ねることで絵をつくりあげる「分解法」に挑戦した。受講生は講師の熱心な指導の下、色の重なりを考えながら下絵を数枚の色版に分解し、彫り上げ、和紙と水性絵具の柔らかな色合いを活かしながら摺りを繰り返し、作品を完成させた。受講生は初心者から経験者まで幅広かったが、それぞれが新たな視点で積極的に取り組んでいた。講師：磯上尚江(版画家)	10/3(金)～12/5(金) 13:30～16:30 全8回	アトリエ	10人	10人	—	30,000円
6	子ども講座②	小学3～6年生	特集展示を鑑賞し、作品にちなんだテーマで簡単な制作を楽しむ。講師：杉浦幸子(武蔵野美術大学芸術文化学科教授)	2026年3/28(土) 13:30～16:00	講堂 展示室	16名	(実施前)	(実施前)	1,000円

2 学校教育への協力

町田市内の学校を中心に、美術部の体験学習や学校単位での団体鑑賞、出張授業などをおこなっています。版画技法について教員からの問い合わせに答えたり、教員研修会への講師紹介・道具の貸出しなどもおこなっています。

No	事業名	対象	概要	実施日程	会場	参加人数	参加延人数	うち小中学生	参加費
1	版画講座	町田市立山崎中学校 学びの多様化学校分教室 ゆめのき 1～3年生	ドライポイントプレートを使用した凹版の制作を行う。出張授業で版をつくり、来館してその版を印刷する。版の特性を活かし、点描や曲線で描いたり表面を1層めくり取ったりして幅広い表現を楽しんだ。刷るインクは黒、赤、青から各自が選択し、プレス機を使って紙だけではなく布バッグにも印刷した。制作後に特集展示「夢の江戸へー美人画と歴史ロマン」を鑑賞した。講師：当館学芸員	①12/10(水) 13:00～14:50 ②12/19(金) 10:15～16:00	①出張授業 ②版画工房	①7人 ②8人	—	①7人 ②8人	500円
2	版画講座	町田市立高ヶ坂小学校 4年生	特集展示「夢の江戸へー美人画と歴史ロマン」の鑑賞と、講堂にて浮世絵の制作工程を動画(当館オリジナルビデオ「歌麿再現」のダイジェスト)と道具(複製浮世絵版木、彫りと摺りの道具)を通して学ぶ。	12/2(火) 10:45～11:45	講堂 展示室	51人	—	51人	無料
3	版画講座	東京学芸大学 教育学部 美術講座の学生	アルミ版によるリトグラフの基本的な制作方法を学ぶ。1版単色刷(色インク)にベタ版を加えた2色刷りを制作する。	2026年3/4(水)、3/11(水)	版画工房	(実施前) 10人程度	(実施前)	—	3,000円

3 他機関への協力

美術館や大学からの依頼を受けて、調査・研究活動に協力します。

No	事業名	協力先	概要	実施日程	会場				
1	浮世絵摺り体験ワークショップ	(一財)町田市文化・国際交流団体 和光大学ポプリホール 鶴川	企画立案に関する助言、講師紹介、版木・道具類の貸出、当日の立ち合い等に協力。<事業内容>講師による解説と実演の後、参加者が摺りをおこなう。併せて道具、資料を展示。一般対象(定員30人)	2026年 2/28(土) 13:00～15:30	和光大学ポプリホール鶴川	—	—	—	—

4 作品展

講座で制作した作品による作品展を、館内の市民展示室等で開催します。作品を展示する機会を受講生に提供し、「発表する楽しさ」を経験してもらうことを目的としています。

No	事業名	対象	概要	会期	会場	出品状況	来場者数	うち小中学生	観覧料
1	第39回 町田市公立小中学校作品展	どなたでも	町田市内の公立小中学校にかよう児童・生徒による作品展。子どもたちが授業等で制作した美術、図画工作、書写の意欲溢れる作品を展示し、日頃の学習の成果を発表する。 <参加校> 町田市立小学校および中学校 <出品作品> 上記学校の授業等で児童・生徒が作った水彩画、版画、デザイン、ポスターなどの平面作品ならびに中学生による工芸、彫刻などの立体作品。および小学生の書写作品。 <会場> 企画展示室1 <主催> 町田市、町田市教育委員会、町田市公立小学校教育研究会図工部・国語部、町田市中学校教育研究会・美術部	中学校美術作品展 2026年1/16(金)～25(日) <9日間>	企画展示室 1	20校	集計中	集計中	無料
				小学校図画工作展 2026年1/30(金)～2/8(日) <9日間>	企画展示室 1	42校	(実施前)	(実施前)	
				小学校書写展 2026年2/14(金)～2/23(月・祝) <9日間>	企画展示室 1	42校	(実施前)	(実施前)	

5 イベント、コンサート

気軽に参加できるさまざまなイベントを実施することで、より身近な美術館となるよう努めます。

No	事業名	対象	概要 (敬称略)	実施日程	会場	定員	参加人数	うち小中学生	参加費
	後期実施なし								

6 版画工房・アトリエの一般開放

No	事業名	対象	概要	実施日数	会場	利用者数	使用料
1	版画工房・アトリエの一般開放	版画制作経験者	版画工房とアトリエを開放し、創作の場を市民に広く提供。 各種プレス機、腐蝕施設、ローラー等の備品のほかインクなどが使用できる。 毎週木曜、日曜、月2回の火曜に実施。 9時30分～17時30分(9時30分～13時30分と13時30分～17時30分) 定員:銅版画 10人 リトグラフ 6人 スクリーンプリント 8人 木版画 2人	年間123回実施	<版画工房> 銅版画 リトグラフ <アトリエ> スクリーンプリント 木版画	4～12月(93回) 2,752人 <内訳> 銅版画 1,350人 リトグラフ 621人 スクリーンプリント 594人 木版画 187人	半日: 1,250円 一日: 2,500円

7 その他事業

No	事業名	対象	概要	実施日程	参加人数				
1	第27回 ゆうゆう版画美術館 まつり	どなたでも	国際版画美術館を拠点に町田市内外に“美術を愛する人々の交流の輪”を拡げることを目的とする。木版画摺り体験、コンサート、市域学生によるアートイベントなど、さまざまなイベントが実施された。友の会との共催事業。同時期に文学館まつりも開催された。(10月19日)	10/18(土)、10/19(日)	4,438人				無料

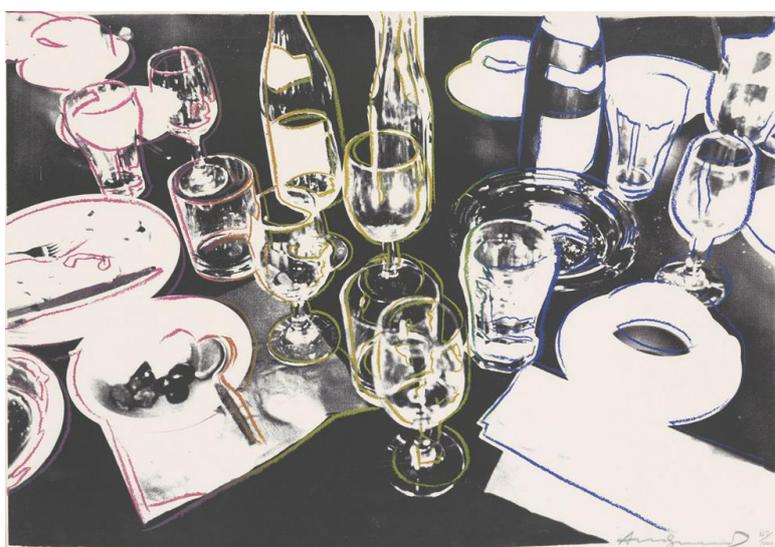
2025（令和6）年度 国際版画美術館 作品・美術資料収集状況

以下の作品と美術資料が、2025年11月21日開催の2025年美術資料収集委員会で承認され、収集されました。

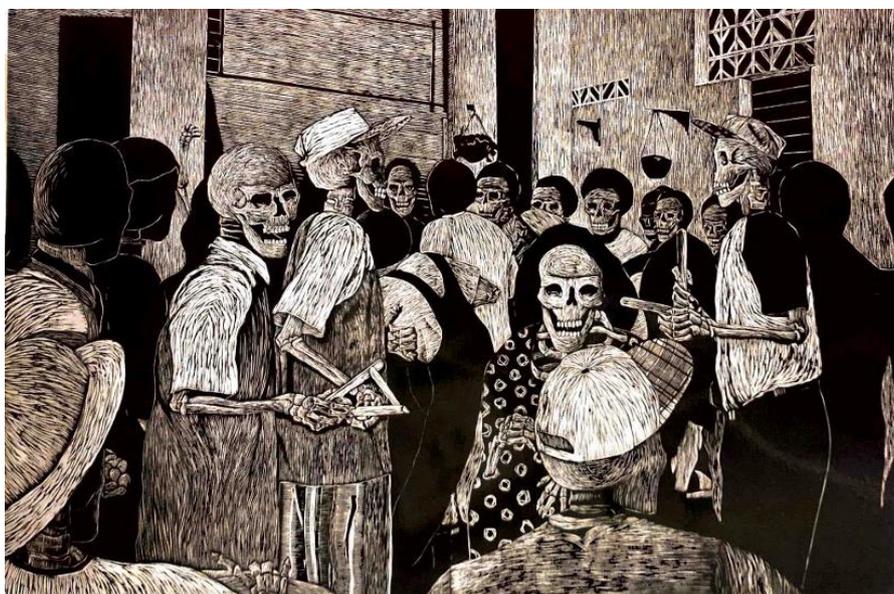
◇寄贈作品			
No	概要	提示予定 作品点数	評価額
1	岡鹿之助ほか 近現代版画	3	¥ 350,000
2	松田幸雄氏旧蔵 現代版画コレクション	61	¥ 4,424,000
3	アンディ・ウォーホル 《After the party》	1	¥ 2,500,000
4	神奈川国際版画トリエンナーレ受賞作品ほか 神奈川県ホール所蔵作品	20	¥ 1,210,000
5	第49回全国大学版画展 町田市立国際版画美術館賞 受賞作品	9	¥ 90,000
合計		94	¥ 8,574,000



No. 1 岡鹿之助 版画作品



No. 3 アンディ・ウォーホル 版画作品



No. 4 ペーニャ・ペラルタ・フリオ・セサル 版画作品

2025年度国際版画美術館事業報告書【講座・イベント版】

プログラム名	第27回 ゆうゆう版画美術館まつり					
主催者	「国際版画美術館友の会」と「国際版画美術館」の共催		人数	4,438人		
開催日時	2025年10月18日(土)・19日(日) 10:00～16:00		場所	町田市立国際版画美術館と前庭		
実施概要						
	イベント	日時	内容	場所	人数	備考
①	開会式	10/18(土) 10時00分～	・主催者挨拶 ・副市長挨拶 ・市議会副議長挨拶	館入口前	106	
②	チャリティアートバザール	10/18(土)、19(日) 両日10時～16時	出展者が自作の作品を展示・販売。	前庭	964	8団体参加。売上の全額を社会福祉協議会に寄付。
③	木版画摺り体験	10/18(土)、19(日) 両日10時～16時	個別指導で、はがきサイズの木版画の「多色摺り」を体験。	アトリエ	438	
④	美術館課版画担当 講演会×鑑賞会 「ココがすごい！版美のコレクション。」	10/18(土) 第1回 10/19(日) 第2回 両日14時～15時30分	館長、ゲスト講師による講演の後、テーマに関連する作品を鑑賞。	企画 展示室2	52 46	
⑤	市域学生アートイベント 玉川大学 『みんなでつくろう光のまち』	10/18(土) 10/19(日) 両日10時～16時	参加者が作成したまちのキャラクターを、プロジェクターを用いてアニメーションに合成・投影させる。	前庭 エントランス	94 42	2日目は雨天のため、会場をエントランスに変更
⑥	市域学生アートイベント 桜美林大学 『世界の遊びの出張博物館』	10/18(土) 10時～16時	世界各国から集めたコマや、けん玉などの体験型の遊びを通じて世界を広げる学び。	エントランス	127	
⑦	ゆうゆうプロムナードコンサート 『ピアノとチェロが奏でる情景』	10/18(土) 第1部:13時～13時半 第2部:14時半～15時	ピアノとチェロによる演奏。	エントランス	103 94	
⑧	美術館課美術館整備担当 「芹ヶ谷公園“芸術の杜”」 紹介展示	10/18(土) 10時～16時	芹ヶ谷公園“芸術の杜”推進事業についてのPR展示等。	前庭	100	
⑨	ポスターデザイン表彰式	10/19(日) 11時～12時	まつりポスター(チラシ)デザインコンテストに入賞した作品の表彰式。	エントランス	49	応募した全作品は、2日間にわたり展示。市長賞(最優秀賞)が、今回のチラシ・ポスターとなっている。
⑩	美術館課工芸担当 (町田市立博物館) 「陶片ペンダントを作ろう」	10/19(日) 10時～16時	素焼きの陶片にマジックペンで絵を描き紐を通してペンダントを作るワークショップ。	前庭	147	
⑪	美術館課管理担当 「わけありワゴンセール」	10/18(土)、19日(日) 両日10時～16時	経年劣化による美品ではない図録、グッズを安価で販売。	売店前	466	
⑫	Nature Factory 東京町田 「野鳥色のプレスレットを作ろう」	10/18(土)、19日(日) 両日10時～16時	2色のロープを編んでストッパーを付け、プレスレットを作る。	前庭	114	売上の一部を社会福祉協議会に寄付。
⑬	福祉作業所出店	10/18(土)、19日(日) 両日10時～16時	喫茶けやき、小麦の家、ラ・ドロン、町田おかしの家が出店。	けやき店内・ 前庭	466	小麦の家、町田おかしの家は10/18(土)のみの出店。

備考	・「文学館まつり(町田市民文学館)」が同時期(10月19日)に開催となった。
事業経費	●ゆうゆう版画美術館まつり負担金 500千円
主な広報・取材等	朝日新聞首都圏版マリオン・ショッパー・武相新聞など

まつりの様子



前庭・入口の様子



木版画摺り体験



玉川大学アートイベント



桜美林大学 アートイベント



ゆうゆうプロムナードコンサート



わけありワゴンセール

—会場—
町田市立国際版画美術館内&前庭

10.18
SAT

2025

(版画美術館・版画美術館友の会共催)

10.19
SUN

—主催—
ゆうゆう版画美術館まつり委員会

ゆうゆう版画 美術館まつり

Enjoy Art!!



第27回 ゆうゆう版画美術館まつり

2025年10月18日(土)・19日(日)

町田市立国際版画美術館・友の会 共催



○会場:美術館館内・前庭・コンコース

◎開会式:10月18日(土)10:00 美術館正面玄関前

【 講演会×鑑賞会 】

ココが すごい！ 版美のコレクション

10月18日(土)『浮世絵について』 大久保純一氏
14:00～15:30 (町田市立国際版画美術館館長)

10月19日(日)『西洋古版画について』
14:00～15:30 越川 倫明 氏(東京芸術大学教授)
会場:企画展示室 2

【 チャリティアートバザール 2025 】

10月18日(土)・19日(日) ～出展:10団体～
10:00～16:00(両日とも) 会場:前庭・コンコース
出展者が自作の手作り作品を展示・販売します。
*チャリティアートバザールでの購入は有料です。
*売り上げの一部を市社会福祉協議会へ寄付します。

第27回版画美術館まつりポスターデザイン 展示&表彰式

10月18日(土)・19日(日) 応募作品展示
10:00～16:00(両日とも) 会場:エントランスホール
10月19日(日)11:00 入賞者表彰式を行います。
・市長賞(最優秀賞 広報に採用)
・版画美術館館長賞・版画美術館友の会会長賞
(町田デザイン&建築専門学校・玉川大学)

ゆうゆうプロムナードコンサート 『ピアノとチェロ』

10月18日(土)13:00～13:30/14:30～15:00
(2回演奏) 会場:エントランスホール
出演:ピアノ 井崎 友理恵 (いざき ゆりえ)
チェロ 松本 梨沙 (まつもと りさ)
秋の演奏会をお楽しみください。

【 木版画摺り体験 】

10月18日(土)・19日(日)
10:00～16:00(両日とも) 会場:アトリエ
友の会会員の個別指導により、はがきサイズの和紙に
多色摺り木版画の摺りを体験!!作品は持ち帰りできます。

【 市域学生によるアートイベント 】

○玉川大学 10月18日(土)・19日(日)
10:00～16:00(両日とも) 会場:前庭
『みんなでつくる光のまち』参加型ワークショップ
○桜美林大学 10月18日(土) 10:00～16:00
『世界の遊びの出張博物館』会場:エントランスホール

【 福祉作業所協賛出店 】

10月18日(土)・19日(日) 10:00～16:00(両日とも)
販売:飲食物・雑貨 会場:前庭
出店:「喫茶けやき」・「ラドロン」 10月18・19日(土・日)
「小麦の家」・「町田おかしの家」 10月18日(土)のみ
*福祉作業所での購入は有料です。

【 芹ヶ谷公園 “芸術の杜” 紹介展示 】

10月18(土) 10:00～16:00 会場:前庭テント
芹ヶ谷公園 “芸術の杜” 推進事業についてのPR 展示等
を行います。

【 陶片ペンダントを作ろう! 】

10月19日(日) 10:00～16:00 会場:前庭テント
素焼きの陶片にペンで絵を描き、紐を通してペンダントを
作るワークショップを開催します。

【 わけありワゴンセール 】

10月18日(土)・19日(日) 10:00～16:00(両日とも)
美術館で美品ではない商品見本だった等のわけあり
商品をセール販売します。 会場:エントランスホール



同時期開催:10/19日(日) 文学館まつり 会場:ことばらんど

ゆうゆう版画美術館まつり運営委員会

〒194-0013 東京都町田市原町田 4-28-1 町田市立国際版画美術館内

◇国際版画美術館 Tel. 042-726-2771

◇国際版画美術館友の会 Tel. 042-726-3051 (火・金 10:00～12:00)

2026（令和8）年度 国際版画美術館 展示計画（案）

展示計画		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
企画展示室 1・2	連続講演：5回 （※全12回のうち2026年度分）		連続講演×5回											
	収蔵品企画展① プレイバック！ミレニアム1991→2001 ：版画が／版画で越えた境界					6/27～8/30 【56日間】								
	収蔵品企画展② うき世のたわむれ ：笑いつづける浮世絵と幕末明治の渦							9/12～11/23 【62日間】						
	新収蔵作品展										12/5～2/23 【62日間】			
	小中学校作品展											1/15～2/23 【62日間】		
常設展示室	特集展示Ⅰ期 おかしみとかなしみ：道化の世界		3/27～6/14 【69日間】											
	特集展示Ⅱ期 メキシコに生きる版画家 竹田鎮三郎 ：起源(オリジン)を求めて				6/19～8/30 【63日間】									
	特集展示Ⅲ期 スペインの版画（仮）						9/4～11/23 【70日間】							
	特集展示Ⅳ期 恩地孝一郎と創作版画の作家たち（仮）									11/27～2/23 【69日間】				

企画展観覧料の値上げについて

収蔵品企画展①：一般800円⇒900円 高校・大学生：400円⇒450円 （※中学生以下：無料は変更なし）

収蔵品企画展②：一般900円⇒1,000円 高校・大学生：450⇒500円 （※中学生以下：無料は変更なし）

当館収蔵品を中心とした巡回展について 展示会名「町田市立国際版画美術館所蔵 長谷川潔展—パリに生きた銅版画家の軌跡」

主催：東京新聞、開催館他 共催：町田市立国際版画美術館 特別協力：横浜美術館 出品作品数：140点程度（長谷川潔の版画100点、関連作家40点、関連資料等）

会期・会場

① 2026年7月11日（土）～ 9月13日（日） パナソニック汐留美術館

② 2027年1月30日（土）～ 4月 4日（日） 久留米市美術館

③ 2027年4月24日（土）～ 6月24日（木） 大山崎山荘美術館

連続講演について：【講演会×鑑賞会】ココがすごい！版美のコレクション。

第1回 4月12日（日）「広重：東海道五拾三次の魅力」大久保純一（当館館長）

第2回 4月26日（日）「版画のなかの道化：ブランドの『阿呆船』からベックマンへ」藤村拓也（当館学芸員）

第3回 5月 3日（日）「木版画になった仏たち：印仏・摺仏の世界」佐々木守俊（清泉女子大学教授）

第4回 5月17日（日）「天災と浮世絵：鯨絵、麻疹絵のおかしみ」宮崎黎（当館学芸員）

第5回 6月 7日（日）「美・ピクチャレスク・崇高：ターナー版画の視覚宇宙と人新世の環境学」富岡進一（郡山市立美術館学芸課長）

2026年度 事業予定【普及担当】 2026年4月～2027年3月

2026年1月29日
町田市立国際版画美術館
運営協議会資料(普及担当)

1 版画講座

版画工房・アトリエにて開催される版画の講習会。様々な種類の版画を体験することができます。制作を通して版画の理解を深め、創作の楽しさを味わうことを目的にしています。子どもを対象にした講座では、版画美術館ならではの楽しい制作体験ができるよう工夫を重ねています。

No	事業名	対象	概要(敬称略)	実施日程	会場	定員	参加費
1	銅版画一日教室①	一般 (高校生以上)	版画の基本的な制作を一日で体験する。初心者から参加可。12×16cmの銅版を用い、ドライポイント技法で作品を制作。下絵は各受講生が持参。様々な方法で描きこむことにより深みのある作品作りを目指す。講師:馬場知子(版画家)	6/12(金) 10:30～16:30	版画工房	10人	4,000円
2	銅版画一日教室②			6/13(土) 10:30～16:30	版画工房	10人	4,000円
3	リトグラフ一日教室①	一般 (高校生以上)	各自用意した下絵をもとに、単色のリトグラフ作品を制作する。初心者から参加可。受講生は講師のアドバイスを受けつつ、様々な描画材を使ってアルミ版に描き込むことで、リトグラフならではの表現を体験する。講師:小森琢己(版画家)	9/25(金) 11:00～16:00	版画工房	8人	4,000円
4	リトグラフ一日教室②			9/26(土) 11:00～16:00	版画工房	8人	4,000円
5	リトグラフ一日教室③			2027年 3/12(金) 11:00～16:00	版画工房	8人	4,000円
6	リトグラフ一日教室④			2027年 3/13(土) 11:00～16:00	版画工房	8人	4,000円
7	木版画一日教室①	一般 (高校生以上)	彫刻刀やバレンの持ち方から、絵具の溶き方、刷毛の使い方まで、木版画の基本的な制作を一日で体験する。初心者から参加可。単色または2色摺りの年賀状を制作。受講生は講師が用意したさまざまな下絵から好きなものを選び、彫りから摺り(ハガキ30枚程度)までを行う。講師:木下泰嘉(版画家)	12/1(火) 10:30～16:00	アトリエ	16人	3,000円
8	木版画一日教室②			12/2(水) 10:30～16:00	アトリエ	16人	3,000円
9	創作講座 木版画	一般 (高校生以上)	木版画の多色刷りの作品制作を通して、木版画の彫りと摺りの基本的な制作方法を学ぶ長期講座。主版(輪郭線)を使用しない分解法により、水性多色摺りの作品を制作する。初心者から参加可能。講師:磯上尚江(版画家)	10/1(金)～12/4(金) 13:30～16:30 全10回	アトリエ	10人	30,000円
10	子ども講座①	小学生	アーティストを講師に招き、美術館で制作を楽しむ。講師:常田泰由(東京造形大学造形学部美術学科助教)	5/2(土) 予定 13:30～16:00	アトリエ	16人	1,000円
11	子ども講座②	小学生	アーティストを講師に招き、美術館で制作を楽しむ。講師:常田泰由(東京造形大学造形学部美術学科助教)	2027年3/27(土) 予定 13:30～16:00	アトリエ	16人	1,000円
12	夏期子ども講座①	小学3～6年生	東京学芸大学の学生ボランティアと指導教官が企画・指導をおこなう。受講生が持参した下絵を、回転版画の技法で紙とTシャツに印刷する。講座終了後、子どもたちの作品と指導にあたった学生の版画作品を市民展示室で展示する。講師:清野泰之(東京学芸大学芸術・スポーツ科学系教授)	7/25(土) 10:30～15:30	アトリエ 版画工房	15人	2,000円
13	夏期子ども講座②			7/26(日) 10:30～15:30	アトリエ 版画工房	15人	2,000円

2 学校教育への協力

町田市内の学校を中心に、美術部の体験学習や学校単位での団体鑑賞、出張授業などをおこなっています。版画技法について教員からの問い合わせに答えたり、教員研修会への講師紹介・道具の貸出しなどもおこなっています。

No	事業名	対象	概要	実施日程	会場	参加人数	参加費
1	版画講座	東京学芸大学 教育学部 美術講座の学生	アルミ版によるリトグラフの基本的な制作方法を学ぶ。1版単色刷(色インク)にベタ版を加えた2色刷りを制作する。	2027年3月(2日間)	版画工房	10人程度	3,000円

ほか

3 他機関への協力

美術館や大学からの依頼を受けて、調査・研究活動に協力します。

No	事業名	対象	概要	実施日程			
1	未定						

4 作品展

講座で制作した作品による作品展を、館内の市民展示室等で開催します。 作品を展示する機会を受講生に提供し、「発表する楽しさ」を経験してもらうことを目的としています。
小中学校作品展では、美術館を会場とし美術館職員がかかわることで、より質の高い展示を目指しています。

No	事業名	対象	概要	会期	会場	出品予定	観覧料
1	夏期子ども講座作品展	どなたでも	夏期子ども講座(内容上記参照)の受講生と指導をおこなった東京学芸大学の学生による作品展。講座で制作した版画のほか、下絵用紙、制作についての感想文も展示。講座の様子をまとめた動画や制作手順の解説パネルを設置する。	8/4(火)~8(土) <5日間>	市民展示室	-	無料
2	第40回 町田市公立小中学校作品展	どなたでも	町田市内の公立小中学校にかよう児童・生徒による作品展。子どもたちが授業等で制作した美術、図画工作、書写の意欲溢れる作品を展示し、日頃の学習の成果を発表する。 <参加校> 町田市立小学校および中学校 <出品作品> 上記学校の授業等で児童・生徒が作った水彩画、版画、デザイン、ポスターなどの平面作品ならびに中学生による工芸、彫刻などの立体作品。および小学生の書写作品。 <会場> 企画展示室1 <主催> 町田市、町田市教育委員会、町田市公立小学校教育研究会図工部・国語部、町田市中学校教育研究会・美術部	中学校美術作品展 2027年 1/15(金)~24(日) <9日間>	企画展示室 1	20校	無料
				小学校図画工作展 2027年 1/29(金)~2/7(日) <9日間>	企画展示室 1	42校	
				小学校書写展 2027年 2/13(土)~2/23(火・祝) <9日間>	企画展示室 1	42校	

5 イベント、コンサート

気軽に参加できるさまざまなイベントを実施することで、より身近な美術館となるよう努めます。

No	事業名	対象	概要(敬称略)	実施日程	会場	定員	参加費
1	プロムナード・コンサートⅠ	どなたでも	未定	9月	エントランス ホール	①100人 ②100人	無料
2	プロムナード・コンサートⅡ	どなたでも	未定	未定	エントランス ホール	①100人 ②100人	無料

6 版画工房・アトリエの一般開放

No	事業名	対象	概要	実施日数	会場	使用料
1	版画工房・アトリエの一般開放	版画制作経験者	版画工房とアトリエを開放し、創作の場を市民に広く提供。 各種プレス機、腐蝕施設、ローラー等の備品のほかインクなどが使用できる。 毎週木曜、日曜、月2回の火曜に実施。 9時30分~17時30分(9時30分~13時30分と13時30分~17時30分) 定員;銅版画 10人 リトグラフ 6人 スクリーンプリント 8人 木版画 2人	年間122回実施	<版画工房> 銅版画、リトグラフ <アトリエ> スクリーンプリント、木版画	半日: 1,250円 一日: 2,500円

7 その他事業

No	事業名	対象	概要	実施日程	参加人数(見込)	参加費
1	第28回 ゆうゆう版画美術館 まつり	どなたでも	木版画摺り体験、コンサート、市域学生によるアートイベントなど、さまざまなイベントが実施される。友の会との共催事業。	10/17(土)、10/18(日)	5,000人	無料